



## 2020年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 鳥取銀行  
コード番号 8383 URL <http://www.tottoribank.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 平井 耕司

問合せ先責任者 (役職名) 経営統括部長 (氏名) 鼻渡 信幸

TEL 0857-37-0260

四半期報告書提出予定日 2019年11月26日

配当支払開始予定日

2019年12月2日

特定取引勘定設置の有無 無

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期中間期	7,114	7.2	1,169	12.9	752	2.4
2019年3月期中間期	7,667	2.4	1,343	2.5	734	17.5

(注) 包括利益 2020年3月期中間期 721百万円 (217.0%) 2019年3月期中間期 227百万円 (67.9%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期中間期	80.36	
2019年3月期中間期	78.44	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期中間期	993,638	49,627	4.9
2019年3月期	1,019,339	49,188	4.8

(参考) 自己資本 2020年3月期中間期 49,536百万円 2019年3月期 49,097百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		30.00		30.00	60.00
2020年3月期		25.00			
2020年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,630	0.3	1,000	5.0	106.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期中間期	9,619,938 株	2019年3月期	9,619,938 株
期末自己株式数	2020年3月期中間期	256,906 株	2019年3月期	256,304 株
期中平均株式数(中間期)	2020年3月期中間期	9,363,289 株	2019年3月期中間期	9,364,346 株

(個別業績の概要)

1. 2020年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期中間期	6,922	7.5	1,164	12.8	749	2.7
2019年3月期中間期	7,487	2.6	1,336	2.4	729	17.7

1株当たり中間純利益	
	円 銭
2020年3月期中間期	80.08
2019年3月期中間期	77.91

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期中間期	991,186		47,870			4.8
2019年3月期	1,016,768		47,328			4.6

(参考)自己資本 2020年3月期中間期 47,870百万円 2019年3月期 47,328百万円

(注)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2020年3月期の個別業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
通期	1,600	0.0	1,000	6.6	106.78	

中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当社は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。

【添付資料】

目 次

1. 当中間決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	1
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 中間連結貸借対照表	2
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	3
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	5
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
3. 中間財務諸表	8
(1) 中間貸借対照表	8
(2) 中間損益計算書	10
(3) 中間株主資本等変動計算書	11

※2020年3月期 第2四半期決算説明資料

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当中間期におけるわが国経済は、米中の貿易摩擦の影響や海外経済の不透明感により輸出や生産活動が弱含んだものの、堅調な内需に支えられ緩やかな回復基調が続きました。今後は、消費税増税に伴う個人消費の動向や、相次いで発生した台風など自然災害の影響についても注視していく必要があります。

次に金融市場では、米国の利下げなど世界的な低金利環境が継続するなか、日本銀行は更なる緩和も辞さない姿勢を維持しており、今後も低金利環境は続くものとみられます。

鳥取県経済をみますと、生産や消費の持ち直しの動きに足踏みがみられるものの、雇用・所得環境の改善が続いていることから、緩やかな回復基調となりました。また、日韓関係の悪化による旅行客の減少や、台風によるイベントの中止などが観光産業に影響を与えましたが、鳥取駅周辺では鳥取大丸のリニューアルオープンに加え、鳥取市役所新庁舎の移転を見据えて飲食店開店が増加するなど賑わいをみせ、倉吉市では新たな観光施設「打吹回廊」がオープンするとともに、米子市では米子高島屋の再生が活発化するなど、各地で中心市街地活性化の動きが出てきています。

このような環境の下、当行は役職員一体となって業績の進展と内容の充実に努めました結果、以下のような業績となりました。

経常収益は、国債等債券売却益の減少によりその他業務収益が減少したほか、利回り低下に伴う資金運用収益の減少や、株式等売却益の減少により、前年同期比5億53百万円減少の71億14百万円となりました。経常費用は、人件費や物件費の抑制により営業経費が減少したことなどから、同3億79百万円減少の59億44百万円となりました。その結果、経常利益は11億69百万円となり、前年同期比1億74百万円減少したものの、前年計上した減損損失の反動減により、親会社株主に帰属する中間純利益は同18百万円増加の7億52百万円を計上いたしました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

預金は、法人預金と公金預金が減少したことから、前連結会計年度末比284億65百万円減少の9,203億1百万円となりました。

貸出金は、公共向け貸出が減少したものの、事業性貸出と個人向け貸出が増加したことから、同72億79百万円増加の7,814億93百万円となりました。

有価証券は、その他の証券や国債の減少等により、同66億94百万円減少の1,147億47百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

2019年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当中間連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	83,749	58,635
有価証券	121,441	114,747
貸出金	774,214	781,493
外国為替	466	411
その他資産	13,817	13,226
有形固定資産	11,159	10,940
無形固定資産	911	856
退職給付に係る資産	7,284	7,828
繰延税金資産	1,194	959
支払承諾見返	8,311	7,798
貸倒引当金	△3,200	△3,238
投資損失引当金	△11	△19
資産の部合計	1,019,339	993,638
<b>負債の部</b>		
預金	948,766	920,301
コールマネー及び売渡手形	61	59
借入金	5,100	5,000
外国為替	6	22
その他負債	4,718	7,726
賞与引当金	492	464
退職給付に係る負債	1,719	1,654
偶発損失引当金	300	325
睡眠預金払戻損失引当金	45	31
販売促進引当金	22	22
再評価に係る繰延税金負債	605	605
支払承諾	8,311	7,798
負債の部合計	970,151	944,011
<b>純資産の部</b>		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	6,452	6,452
利益剰余金	30,216	30,687
自己株式	△675	△676
株主資本合計	45,055	45,525
その他有価証券評価差額金	1,596	1,741
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	1,008	1,008
退職給付に係る調整累計額	1,437	1,260
その他の包括利益累計額合計	4,042	4,010
非支配株主持分	90	91
純資産の部合計	49,188	49,627
負債及び純資産の部合計	1,019,339	993,638

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
経常収益	7,667	7,114
資金運用収益	5,168	4,994
(うち貸出金利息)	4,502	4,383
(うち有価証券利息配当金)	550	505
役務取引等収益	1,280	1,349
その他業務収益	418	43
その他経常収益	799	727
経常費用	6,323	5,944
資金調達費用	252	184
(うち預金利息)	222	179
役務取引等費用	752	759
その他業務費用	1	9
営業経費	4,995	4,783
その他経常費用	321	207
経常利益	1,343	1,169
特別損失	127	3
固定資産処分損	0	0
減損損失	127	3
税金等調整前中間純利益	1,215	1,166
法人税、住民税及び事業税	67	133
法人税等調整額	412	280
法人税等合計	479	413
中間純利益	736	752
非支配株主に帰属する中間純利益	1	0
親会社株主に帰属する中間純利益	734	752

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
中間純利益	736	752
その他の包括利益	△508	△31
その他有価証券評価差額金	△363	73
繰延ヘッジ損益	△0	0
退職給付に係る調整額	△139	△176
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	71
中間包括利益	227	721
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	225	720
非支配株主に係る中間包括利益	1	0

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,061	6,452	29,770	△673	44,611
当中間期変動額					
剰余金の配当			△280		△280
親会社株主に帰属する中間純利益			734		734
自己株式の取得				△0	△0
土地再評価差額金の取崩			47		47
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	-	-	500	△0	499
当中間期末残高	9,061	6,452	30,271	△674	45,111

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,232	0	1,062	1,966	5,262	85	49,959
当中間期変動額							
剰余金の配当							△280
親会社株主に帰属する中間純利益							734
自己株式の取得							△0
土地再評価差額金の取崩							47
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△369	△0	△47	△139	△555	1	△554
当中間期変動額合計	△369	△0	△47	△139	△555	1	△54
当中間期末残高	1,863	0	1,015	1,827	4,706	87	49,904



当中間連結会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,061	6,452	30,216	△675	45,055
当中間期変動額					
剰余金の配当			△280		△280
親会社株主に帰属する中間純利益			752		752
自己株式の取得				△0	△0
土地再評価差額金の取崩			-		-
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	-	-	471	△0	470
当中間期末残高	9,061	6,452	30,687	△676	45,525

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,596	△0	1,008	1,437	4,042	90	49,188
当中間期変動額							
剰余金の配当							△280
親会社株主に帰属する中間純利益							752
自己株式の取得							△0
土地再評価差額金の取崩							-
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	145	0	-	△176	△31	0	△31
当中間期変動額合計	145	0	-	△176	△31	0	439
当中間期末残高	1,741	△0	1,008	1,260	4,010	91	49,627

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. 中間財務諸表  
 (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当中間会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	83,749	58,634
有価証券	121,235	114,467
貸出金	774,819	782,153
外国為替	466	411
その他資産	12,274	11,632
その他の資産	12,274	11,632
有形固定資産	11,157	10,938
無形固定資産	910	850
前払年金費用	5,117	5,926
繰延税金資産	1,868	1,555
支払承諾見返	8,311	7,798
貸倒引当金	△3,130	△3,162
投資損失引当金	△11	△19
資産の部合計	1,016,768	991,186
<b>負債の部</b>		
預金	948,793	920,312
コールマネー	61	59
借入金	5,100	5,000
外国為替	6	22
その他負債	4,112	7,136
未払法人税等	82	146
リース債務	1,162	988
その他の負債	2,867	6,001
賞与引当金	488	460
退職給付引当金	1,615	1,563
偶発損失引当金	300	325
睡眠預金払戻損失引当金	45	31
再評価に係る繰延税金負債	605	605
支払承諾	8,311	7,798
負債の部合計	969,440	943,316

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当中間会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	6,452	6,452
資本準備金	6,452	6,452
利益剰余金	29,984	30,453
利益準備金	2,628	2,628
その他利益剰余金	27,356	27,825
別途積立金	26,145	26,645
繰越利益剰余金	1,211	1,180
自己株式	△674	△675
株主資本合計	44,824	45,292
その他有価証券評価差額金	1,496	1,569
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	1,008	1,008
評価・換算差額等合計	2,504	2,577
純資産の部合計	47,328	47,870
負債及び純資産の部合計	1,016,768	991,186

(2) 中間損益計算書

	(単位：百万円)	
	前中間会計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
経常収益	7,487	6,922
資金運用収益	5,149	4,974
(うち貸出金利息)	4,482	4,363
(うち有価証券利息配当金)	550	505
役務取引等収益	1,123	1,180
その他業務収益	418	43
その他経常収益	795	723
経常費用	6,150	5,757
資金調達費用	252	182
(うち預金利息)	222	179
役務取引等費用	664	669
その他業務費用	1	9
営業経費	4,928	4,715
その他経常費用	303	181
経常利益	1,336	1,164
特別損失	127	3
税引前中間純利益	1,208	1,160
法人税、住民税及び事業税	66	131
法人税等調整額	412	279
法人税等合計	478	411
中間純利益	729	749

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	9,061	6,452	6,452	2,628	25,645	1,280	29,553
当中間期変動額							
剰余金の配当					500	△780	△280
中間純利益						729	729
自己株式の取得							
土地再評価差額金の取崩						47	47
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)							
当中間期変動額合計	-	-	-	-	500	△4	495
当中間期末残高	9,061	6,452	6,452	2,628	26,145	1,276	30,049

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△673	44,394	2,097	0	1,062	3,160	47,555
当中間期変動額							
剰余金の配当		△280					△280
中間純利益		729					729
自己株式の取得	△0	△0					△0
土地再評価差額金の取崩		47					47
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)			△363	△0	△47	△410	△410
当中間期変動額合計	△0	494	△363	△0	△47	△410	84
当中間期末残高	△674	44,889	1,734	0	1,015	2,750	47,640

当中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	利益剰余金合計	
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	9,061	6,452	6,452	2,628	26,145	1,211	29,984
当中間期変動額							
剰余金の配当					500	△780	△280
中間純利益						749	749
自己株式の取得							
土地再評価差額金の取崩						-	-
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)							
当中間期変動額合計	-	-	-	-	500	△31	468
当中間期末残高	9,061	6,452	6,452	2,628	26,645	1,180	30,453

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△674	44,824	1,496	△0	1,008	2,504	47,328
当中間期変動額							
剰余金の配当		△280					△280
中間純利益		749					749
自己株式の取得	△0	△0					△0
土地再評価差額金の取崩		-					-
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)			73	0	-	73	73
当中間期変動額合計	△0	468	73	0	-	73	541
当中間期末残高	△675	45,292	1,569	△0	1,008	2,577	47,870